

# みらい & ひかり



令和6年11月

## 授業参観ありがとうございました(11/19)



本日は、同和教育の授業を参観していただき、ありがとうございました。今回は、相手によって態度を変えるのは差別であるということについて考え、仲間はずしをせず、だれにでも平等に接していこうとする態度を育むことをねらいとして授業を行いました。日常生活の中では、仲のよい友達には優しく話したりすぐに仲間に入れたりする一方で、そうでない友達に対しては強い口調で接したり遊びを断ったりしてしまうことがあります。また、子ども同士の力関係によって、何気ないことの中

でも、相手への見方や言い方に違いが出てくることもあります。こういった考え方は、一人一人の存在を軽んじる不当なもので、許されないことだということに気付かせることが必要です。

本授業では、まず、「仲間に入れて」と言ってきた2人に対して、異なる対応をした場面を取り上げ、相手による態度の違いを比べて「おかしいな」と思ったところについて考えました。なぜ、そのような態度をとったのか考え、仲間に入れてもらえなかった人物のつらい気持ちに共感しながら、差別的な言動に憤りの気持ちをもちました。

後半では、自分が傍観者の立場である「わたし」だったらどうするか、自分の問題としてとらえ、自分が取るべき行動について考えました。子どもたちからは、「入れてあげたらいいんじゃないの?」「差別はだめだよ」と注意をする、わたしが(代わりに)仲間に入れてあげる、先生に言う(相談する)という考えが出されました。また、そのように考えた理由として、「このままだと仲間に入れてもらえなかった友達がずっと悲しく、嫌な気持ちだから」「注意しなかったら差別を手伝っていることになるから」と考え、平等な態度をとることの大切さに気付くことができました。

最後には、学習を振り返り、これから自分はどのようにしていくべきか考えました。子どもたちは真剣に考え、シートに自分の思いを書いていました。自分事として捉えることは、低学年にはまだ難しいかもしれませんが、今後このような状況が生じた際には、その都度、本授業で考えたことを思い出しながら、どのようにすべきか話し合っていきたいと思えます。

本日、シートと授業で使用した資料を持ち帰りました。授業参観に来られなかったお家の方も、それらをご覧になり、子どもたちと一緒に今回の学習について振り返ってください。そして、シートの「おうちの人から」の欄に、子どもたちに向けてコメントを書いていただきたいと思います。お忙しい中、申し訳ございませんが、25日(月)までに書いていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。



# くわとい市民の森で秋探し 11/1



## 宝田小学校の2年生と一緒に たにはま公園で遊んだよ！

21日は天候に恵まれ、さわやかな秋晴れの空の下で、宝田小学校の2年生の子どもたちと遊ぶことができました。自己紹介とたにはま公園の紹介をした後、遊び始めました。顔見知りの子や趣味が同じ子がいたこともあり、すぐに打ち解け、声を掛け合いながら仲良く遊ぶ姿が見られました。鬼ごっこをしたり、遊具で遊んだり、どんぐりを拾ったりしました。そして、海が見える丘まで走り、きれいな景色を見て、記念撮影をしました。最後に、遊んだ感想を伝え合いました。とても楽しかったようで、また一緒に遊びたいという声が双方から聞かれました。ハイタッチをして、笑顔で別れを惜しむ姿を見て、本当に楽しい時間を過ごせたのだなあと感じました。この貴重な経験を活かし、今後も交流の機会を作っていきたいと思います。



## ステキなリースが完成しました！

